

## S27 高気圧酸素療法併用化学療法患者における抗がん薬の薬物動態

田中克之<sup>1)</sup> 根岸大輔<sup>2)</sup> 山口治香<sup>2)</sup> 清水万紀子<sup>2)</sup>  
山崎浩史<sup>2)</sup> 吉田泰之<sup>1)</sup> 鈴木由布<sup>1)</sup> 橋本卓雄<sup>1)</sup>

( 1) 聖マリアンナ医科大学脳神経外科  
2) 昭和薬科大学薬物動態学研究室 )

【はじめに】高気圧酸素療法 (hyperbaric oxygenation: HBO) 併用化学療法患者における血清・尿中carboplatin (CBDCA) 濃度を経時的に測定し薬物動態学的に検討した。

【方法】再発悪性神経膠腫症例において十分な説明と同意が得られた7症例において、血清・尿中CBDCA濃度を測定した。濃度測定は、薬剤投与直前、直後、タンク前、直後、30分後、60分後、24時間後である。測定方法は新たに確立した高速液体クロマトグラフ法 (HPLC) を用い解析した。

### 【結果】

- 1) 新たに確立した測定法で血清・尿中CBDCA濃度の推移を測定できた。
- 2) 血清CBDCA濃度はHBO治療終了後60分後でも推定薬物濃度曲線よりも高濃度に維持されていた。

【考察】HBO併用により血清CBDCA濃度が高値に維持されることがわかった。基礎実験の結果を強く裏付ける結果が得られた。

【まとめ】HBO併用化学療法患者において薬剤血中濃度の時間的推移を捉えた意義は大きく、今後薬物投与設計確立、個別化治療に応用できると思われた。